

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成21年度～平成25年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	（みやぎほくぶ） 宮城北部森林計画区 （宮城県）	事業実施主体	東北森林管理局 宮城北部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>当事業は、宮城北部森林計画区内の国有林野70,463haを対象としている。当計画区は、奥羽山脈の山岳地帯、北上山地の丘陵地帯、及びこの2つの地帯に挟まれた平野部からなっている。</p> <p>林況については、山岳地帯の上部はブナの天然林、下部はミネカエデやミズナラを主とする天然林、丘陵地帯はスギ、アカマツを主とする人工林、海岸地帯はアカマツ、クロマツ、モミを主とする天然林、平野部はスギを主とし、ヒノキが混交する人工林など、山岳部から海岸部にかけて多様な森林が構成されている。</p> <p>当地域は、これらの豊かな森林資源を利用した木材加工が従来から発達しているほか、キノコや山菜等林産物を利用した食品加工工業が重要な産業となっている。また、平野部は我が国国有数の穀倉地帯の大崎平野をはじめとする水田地帯が広がっているほか、沿岸地帯は養殖等の漁業が行われており、国有林はこれらの源流部等の重要な水源地帯に位置している。</p> <p>このほか当計画区内は、優れた自然景観を有する森林が多いことから、国定公園、自然公園に指定されている地域が多く、森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として四季を通して多くの人々に利用されている。</p> <p>当事業は、これらの地域の特性を踏まえて、地球温暖化防止対策や水源かん養機能、木材生産機能等の森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるために必要な更新や間伐等の保育作業、並びにこれらを実施するために必要な路網整備を森林の重視すべき機能の区分に応じ実施するものである。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">398 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">3,758 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">44.6 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">0.1 km</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	398 ha			保育面積	3,758 ha		路網整備	開設延長	44.6 km			改良延長	0.1 km
主な事業内容	森林整備	更新面積	398 ha																
		保育面積	3,758 ha																
	路網整備	開設延長	44.6 km																
		改良延長	0.1 km																
費用対効果分析	総 便 益 (B)	6,635,410 千円																	
	総 費 用 (C)	1,512,366 千円																	
	分析結果 (B/C)	4.39																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 地球温暖化対策や国土保全及び水源かん養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 便 益 集 計 表

事業名:森林環境保全整備事業

事業実施主体:東北森林管理局

事業実施地区名:宮城北部森林計画区(宮城県)

宮城北部森林管理署

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	750,596	
	流域貯水便益	325,483	
	水質浄化便益	435,424	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,687,494	
環境保全便益	炭素固定便益	402,413	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	140,744	
	木材利用増進便益	57,530	
	木材生産確保・増進便益	1,862,880	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	868,242	
	森林管理等経費縮減便益	104,604	
総便益(B)		6,635,410	
総費用(C)		1,512,366	
費用便益比		4.39	